

分子神経生物学研究室

Molecular Neurobiology

教授	津田 正明	Masaaki Tsuda
准教授	田渕 明子	Akiko Tabuchi
助教	福地 守	Mamoru Fukuchi

◆ 著書

- 1) 津田正明, 福地守, 田渕明子, 原大智: 神経活動依存的な遺伝子発現ネットワーク. 「実験医学」 五十嵐和彦他編, 1580-1585, 羊土社, 東京, 2007.

◆ 原著

- 1) Ishimaru N., Tabuchi A., Hara D., Hayashi H., Sugimoto T., Yasuhara M., Shiota J., and Tsuda M.: Regulation of neurotrophin-3 gene transcription by Sp3 and Sp4 in neurons. *J. Neurochem.*, 100: 520-531, 2007.
- 2) Takasaki I., Takarada S., Fukuchi M., Yasuda M., Tsuda M., and Tabuchi Y.: Identification of genetic networks involved in the cell growth arrest and differentiation of a rat astrocyte cell line RCG-12. *J. Cell. Biochem.*, 102: 1472-1485, 2007.
- 3) Yasuda M., Fukuchi M., Tabuchi A., Kawahara M., Tsuneki H., Azuma Y., Chiba Y., and Tsuda M.: Robust stimulation of TrkB induces delayed increases in BDNF and Arc mRNA expressions in cultured rat cortical neurons via distinct mechanisms. *J. Neurochem.*, 103: 626-636, 2007.

◆ 学会報告

- 1) 田渕明子: アクチン結合モチーフを有する転写コアクチベーターMKLによる神経形態制御. 遺伝情報 DECODE・転写研究会共催冬のワークショップ, 2007, 1, 25-27, 湯沢.
- 2) 福地守, 田渕明子, 津田正明: Activity-dependent stabilization of brain-derived neurotrophic factor (BDNF) mRNA regulated by calcium signals in neurons. 遺伝情報 DECODE・転写研究会共催冬のワークショップ, 2007, 1, 25-27, 湯沢
- 3) 津田正明: 環境情報変換に果たす神経活動依存的遺伝子発現制御系の役割. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 4) 田渕明子, 塩田惇, 石川充, 堤下寛之, 西嶋直紀, 阪上洋行, 津田正明: アクチン結合モチーフを有する転写活性化因子 MAL による新規情報伝達. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 5) 塩田惇, 阪上洋行, 津田正明, 田渕明子: アクチン結合モチーフを有する転写コアクチベーターMKL1 がニューロンの形態に及ぼす影響. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 6) 福地守, 田渕明子, 津田正明: 神経細胞におけるカルシウムシグナル依存的な脳由来神経栄養因子 (BDNF) mRNA の安定化機構の解析. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 7) 原大智, 宮下敏秀, 田渕明子, 津田正明: クロマチン構造を介した神経活動依存的な BDNF 遺伝子プロモーターI 制御機構の解明. 日本生化学会北陸支部第 25 回大会, 2007, 5, 26, 石川.
- 8) 石川充, 西嶋直紀, 堤下寛之, 阪上洋行, 津田正明, 田渕明子: アクチン結合モチーフを有する転写活性化因子 MKL2 の機能解析. 日本生化学会北陸支部第 25 回大会, 2007, 5, 26, 石川.
- 9) 田渕明子, 石川充, 阪上洋行, 西嶋直紀, 塩田惇, 津田正明: 突起形態と転写制御におけるアクチン結合モチーフを有する転写活性化因子 MKL1/2 の機能解析. 第 30 回日本神経科学大会・第 50 回日本神経化学学会大会・第 17 回日本神経回路学会大会合同大会, 2007, 9, 10-12, 横浜.
- 10) 原大智, 宮下敏秀, 田渕明子, 津田正明: BDNF 遺伝子プロモーターI の転写制御機構と神経活動のクロマチン構造への組み込み. 第 30 回日本神経科学大会・第 50 回日本神経化学学会大会・第 17 回日本神経回路学会大会合同大会, 2007, 9, 10-12, 横浜.
- 11) 石川充, 西嶋直紀, 阪上洋行, 津田正明, 田渕明子: アクチン結合性転写活性化因子 MKL1/2 の組織・時期特異的分布. 第 30 回日本神経科学大会・第 50 回日本神経化学学会大会・第 17 回日本神経回路学会大会合同大会, 2007, 9, 10-12, 横浜.
- 12) 西嶋直紀, 石川充, 堤下寛之, 塩田惇, 津田正明, 田渕明子: アクチン結合モチーフを有する転写活性化因子 MKL1/2 の突起形態と遺伝子発現における機能解析. 第 30 回日本神経科学大会・第 50 回日本神経化学学会大会・第 17 回日本

神経回路学会大会合同大会, 2007, 9, 10-12, 横浜.

- 13) 立見沙織, 高崎一朗, 宝田聡子, 田淵圭章, 津田正明: アストロサイトにおける ATP 誘導性 BDNF 遺伝子発現上昇メカニズムの解析. 日本薬学会北陸支部平成 19 年度第 117 回例会, 2007, 11, 11, 金沢.
- 14) 二井卓哉, 南野恵, 原大智, 高崎一朗, 福地守, 田淵明子, 津田正明: パルプロ酸により誘導される興奮性・抑制性関連遺伝子発現の網羅的解析. 日本薬学会北陸支部平成 19 年度第 117 回例会, 2007, 11, 11, 金沢.
- 15) 福地守, 津田正明: 3'非翻訳領域を介した神経活動依存的な脳由来神経栄養因子 BDNF mRNA の安定化機構. 第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会, 2007, 12, 11-15, 横浜.
- 16) Ishikawa M., Nishijima N., Sakagami H., Tsuda M., and Tabuchi A.: Functional analysis of MKL1/2, actin-binding coactivator for SRF, in morphology and transcription of neurons. 第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会, 2007, 12, 11-15, 横浜.
- 17) Hara D., Miyashita T., Tabuchi A., Fukuchi M., Takasaki I., and Tsuda M.: Integration of neuronal activity into chromatin on the BDNF gene promoter I against the repressive transcriptional activity of REST/NRSF in neurons. 第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会, 2007, 12, 11-15, 横浜.
- 18) 福地守, 下鳥政貴, 二井卓哉, 渡邊信次郎, 高崎一朗, 田淵明子, 津田正明: 下垂体細胞アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチド PACAP による神経活動依存的な遺伝子発現カスケードの活性化. 第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会, 2007, 12, 11-15, 横浜.
- 19) 田淵明子, 石川充, 堤下寛之, 西嶋直紀, 阪上洋行, 津田正明: アクチン結合モチーフを有する転写活性化因子 MAL による新規情報伝達. 第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会, 2007, 12, 11-15, 横浜.

◆ その他

- 1) 田淵明子: 日本薬学会奨励賞 授賞. 神経可塑性関連遺伝子の発現制御系の解明とその役割に関する研究. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 28-30, 富山.
- 2) 原大智: 大学院優秀発表賞 授賞. クロマチン構造を介した神経活動依存的な BDNF 遺伝子プロモーター I 制御機構の解明. 日本生化学会北陸支部第 25 回大会, 2007, 5, 26, 石川.